

謝 辞

昭和 33 年、麻生塾工業高等学校に入学以来 45 年間お世話になった麻生セメント株式会社を平成 14 年 10 月 31 日に定年退職しました。退職を控えた同年 10 月 1 日、伝統ある九州工業大学大学院 建設社会工学専攻に入学し、レジンコンクリートの研究に従事いたしました。

入学と同時に病に倒れられた指導教官の九州工業大学教授 山崎竹博先生に代わり、研究テーマの選定、研究の計画、実施、論文、学会発表を経て、学位論文に到達するまでの 6 年間という長きにわたり、終始暖かいご指導とご鞭撻を賜りました九州工業大学准教授 日比野誠先生に心より感謝申し上げます。また、山崎竹博先生の後の主査をお引受けいただきました九州工業大学教授 幸左賢二先生には、終始、学位論文とは如何にあるべきか、論文のまとめ方について、数多くのご指導とご鞭撻を賜りました。ここに深甚なる感謝の意を表します。さらに、九州工業大学大学院 建設社会工学専攻教授 久保喜延先生、渡辺義則先生および同機械知能工学専攻教授 鶴田隆治先生には、ご多忙中にもかかわらず副査になっていただき、数多くの貴重なご助言とご指導を頂きました。心より感謝申し上げます。

また、レジンコンクリートの収縮挙動の解析にあたり、デジタル画像相関法という新しい解析手法をご提供、ご指導いただきました長崎大学 工学部構造工学科教授 松田浩先生、福岡県工業技術センター 機械電子研究所内野正和氏には親身となったご指導とご鞭撻を賜り、心よりお礼申し上げます。

特に、本研究を遂行するにあたり共同研究先である株式会社アソウレジコン前社長 濱園喜代一氏、同社長 小島哲氏、同技術部長 松下博氏はじめ社員の皆様には、“WE DELIVER THE BEST” の企業理念のもと、全社を挙げてのご協力とご支援、ご指導を賜り、更に、学会発表等につきましても寛大なるご協力をいただきました。ここに、深甚なる感謝の意を表し、心よりお礼を申し上げます。また、麻生ラファージュセメント株式会社 山本孝義氏、堤博文氏には、本研究の遂行の中で幾多の問題にぶつかった時、的確なご指導とアドバイスをいただきました。心よりお礼を申し上げます。

入学以来、所属するコンクリート研究室の助教である合田寛基先生には、研究の準備、実施、解析と研究室における研究体制の調整や日常生活など 広範にわたる面倒を見ていただきました。また、コンクリート研究室の学生諸君、中でも梅田高正、宮野暢紘、中木屋智、伊東和久、桑畑勇太、川本雅子、若林秀信、児島太郎の皆様には、共同研究者として本研究の推進に多大なるご協力、ご尽力をいただきました。それに、コンクリート研究室の事務や運営全般を担当され学生から“こん研ママ”と慕われていました大内明美さんには、年老いた私に対しても若い学生同様の暖かい対応をいただきました。ここに感謝申し上げます。

最後に、入学当初から今日まで、一貫して病床の山崎竹博先生の代わりとなり、暖かく見守っていただき、挫折感に陥る私に対し機会あるごとに叱咤激励を賜り、研究者としての基本的な考え方や人間としてのあり方などについて、ご指導とご鞭撻をいただきました九州工業大学名誉教授 出光隆先生に、深甚なる感謝の意を表しますとともにお礼を申し上げます。

そして、いつも病床から研究の進捗状況を心配し 論文のまとまるのを楽しみにしていただき、文字盤を介して暖かい激励とご声援をいただき、私の心の支えとなっていたいただきました山崎竹博教授に、心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。以上